

# LifeKeeper for Linux v9.0.0

## テクニカルアップデートインフォメーション

---



## 目次

1.	はじめに .....	3
2.	<b>LifeKeeper for Linux v9.0.0 の新機能・機能変更</b> .....	3
3.	<b>重要な製品の改修</b> .....	4
4.	お問い合わせ .....	5
5.	免責事項 .....	5
6.	著作権 .....	5

## 1. はじめに

本文書では LifeKeeper for Linux v9.0.0 (SIOS Protection Suite for Linux v9.0.0 / SPS v9.0.0) での新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

## 2. LifeKeeper for Linux v9.0.0 の新機能・機能変更

### 新たに追加された機能

- Chef サポート  
Infrastructure as code を実現するインフラの構成管理ツール「Chef」に LifeKeeper for Linux が対応しました。  
v9.0.0 におけるサポート対象構成は、2 ノードの DataReplication 構成で、IP / FileSystem / Apache / MySQL / PostgreSQL の ARK です。  
※Chef サポートの対象構成は、今後のリリースで順次拡充します。
- パラメーター一覧
  - パラメーター一覧のドキュメントを統合し、より分かりやすい内容にしました。
  - lkchkconf コマンドを追加しました。  
/etc/default/LifeKeeper に設定された値について、LifeKeeper の起動時に読み込む設定が反映済みか、LifeKeeper の監視実行の間隔とリソースの監視処理のタイムアウトの設定値に矛盾がないかを確認できるようになりました。

#### 【出力例】

- パラメータの反映に LifeKeeper 再起動が必要なものが、まだ反映されていない場合 (例は FLAGTIMEOUT のパラメータが反映されていない場合)

The following parameter is not applied. Reboot LifeKeeper.  
- FLAGTIMEOUT

- 監視処理のタイムアウト値と LifeKeeper 自体の監視間隔と比較して大きく設定されている場合  
(例は Apache の監視処理のタイムアウト値が LifeKeeper 自体の監視間隔 LKCHECKINTERVAL より大きく設定されていた場合)

The relationship of the following parameter is not recommended.  
Refer to the manual and review the configuration value.  
- APACHE\_QUICKCHECK\_TIMEOUT, LKCHECKINTERVAL

- 何もエラーがない場合

No errors were detected.

#### 新たにサポートされたプラットフォーム・ソフトウェア

- vSphere 6 をサポート対象に加えました。
- JRE 8u51 がサポート対象になりました。

#### サポートが廃止された機能・環境

- reiserfs ファイルシステムのサポートを廃止しました。
- DataKeeper の Rewind 機能を廃止しました。  
※バージョンアップする場合は、先に Rewind 機能を停止してください。
- WebUI で利用できるブラウザのサポート対象から Chrome を除外しました。
- JRE 7 がサポート対象外となりました。

### 3. 重要な製品の改修

SPSv9.0.0 における修正の中で、重要と思われるものをピックアップします。

#### [LifeKeeper Core]

- RESRVRECTIMEOUT パラメータのデフォルト値を 60(s)から 150(s)に変更しました。
- 脆弱性対応のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.1p にアップデートしました。

#### [LifeKeeper GUI]

- IP リソースの Modify Ping List 画面で[Remove selected address(es)]をクリックしたときに、Confirmation ダイアログを表示しないフローに変更しました。

#### [DataKeeper]

- LKDR\_CHUNK\_SIZE パラメータのデフォルト値を 64(KB)から 256(KB)に変更しました。  
アップデートしても、既存のリソースには影響ありません。アップデート後にリソースを作成する場合、デフォルト値が 256(KB)になります。
- 6 台以上でマルチターゲット構成が作成できない制限事項を解消しました。
  - 8 台構成までサポートされます。

#### 4. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切な窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

#### 5. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証をするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

#### 6. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。